

# 約 1000 軒の全国ライブハウス情報を集約 「LIVEHOUSE+」をオープン

チケット販売サービス「e+ (イープラス)」を運営する、株式会社イープラス(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:倉見尚也、以下「イープラス」)は、全国にあるライブハウスのライブスケジュールを集めた Web サイト「LIVEHOUSE+」(ライブハウスプラス)をオープンいたしました。

<http://livehouse.eplus.jp/>



TOP ページ(スマートフォン)



ライブハウス毎のスケジュール(PC)

## フェス活況の次はライブハウスへの回帰

右肩上がりと言われて久しい、“ライブ・エンタテインメント市場”を牽引してきた音楽フェスティバルは、優れた楽曲、高い演奏力とオーディエンスを惹きつけるパフォーマンスを持って選ばれた多くのアーティストに出会う場として、フェスそのものの体験と共に、ファンを拡大してきました。

フェス市場の拡大に比例して、好きになったアーティストのワンマン、対バンライブに行くファンも

増加しており、フェスのステージでステップアップしたアーティストは、チケットがプレミアム化しているケースも多く見られます。また、市場の成熟によるフェスの同質化も起こり始めており、より濃密なライブ体験を求めて、ライブハウスへ向かうオーディエンスが今後さらに増えてゆくと考えられます。

※「ライブ・エンタテインメント白書 2017」によれば、ロック・フェスティバルの 2016 年の市場規模は過去 10 年で最高。

## サブスク時代にリスナーの多様化が加速する

フェスに参加するオーディエンスの体験を時系列でみると、好きなアーティストの SNS で出演を知り、会場で興味を持った別のアーティストやフェス友に聞いた情報をフォローして、ミュージックビデオや音源にふれ、ライブに足を運ぶといったケースが多いのではないのでしょうか？アーティストとファンの One to One の数が単純に増えてゆきますが、IT の発展やサブスクリプション・サービスが本格化することで、視聴データ、アーティスト相関や AI(人工知能)を活用した高精度なレコメンデーションやプレイリストといった機能が、パーソナライズをして自分好みのアーティストや楽曲を教えてください。その技術が進化することで、これまで知らなかったアーティストに出会う機会が格段に増え、リスナーの多様化と市場ではロングテール化が進むため、ライブハウスで公演を行うアーティストのファンが必然的に増えると推測しています。

## その時、どこで情報を探せばよいのか？

私たちは、ライブハウス情報を探す場所がないことに気が付きました。それが、「LIVEHOUSE+」(ライブハウスプラス)をスタートする理由です。まずは、シンプルに全国約 1000 軒のライブハウスのスケジュールから、地域×日付、ライブハウス名、アーティスト名等で検索でき、そのままチケットが購入でき、「今」行きたいライブが必ず見つかる」ことから始めます。

いくつかのおススメ公演もご紹介していますが、今後は、さらにアーティスト関連情報や便利な機能を充実させ、バージョンアップしてゆき、ライブハウス、音楽業界を盛り上げて行きたいと考えています。

### ■LIVEHOUSE+

<http://livehouse.eplus.jp/>

お問い合わせ

<http://livehouse.eplus.jp/contact/form>